

令和8年度 事業計画書

社会福祉法人 青い鳥

目 次

1. 社会福祉法人 青い鳥・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
法人本部

2. 生活介護事業・就労継続支援 B 型事業・・・・・・・・ 3 ページ
日本平学園

3. 共同生活援助(包括型)(グループホーム)事業・・・・・・・・ 5 ページ
日本平ホーム
日本平ハイツ

4. 短期入所(ショートステイ)事業・・・・・・・・・・・・ 7 ページ
日本平ホーム短期入所事業所

令和8年度 社会福祉法人 青い鳥「法人本部」事業計画

法人理念 共に悩み、共に感動し、共に認め合える法人を目指します。

基本方針 障がいの有無にかかわらず個人の尊厳が保たれ、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう地域支援を推し進める。利用者本人とその家族の思いや願いに寄り添い、一人ひとりに合った支援を行う。

令和8年度の事業計画		
1. 日本平ホーム増築工事の実施、増員後の事業開始準備及び事業開始 2. 職員の人材確保（外国人を含む新規採用）及び職員教育の推進 3. 利用者の確保 4. 地域貢献事業の実施及び推進 5. 理事会、評議員会の定期開催		
重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
1	(1) 日本平ホーム増築工事の実施 （建物の完成）	<ul style="list-style-type: none"> ・工事入札から着工、完成に至るまで、事故怪我の無い様に常に配慮する。 ・危険箇所の把握、明示、職員間周知徹底を図る。
	(2) 増員後の事業開始準備及び事業開始 （入居者9名での事業開始）	<ul style="list-style-type: none"> ・増築に伴う定款変更の実施 ・新規入居者との契約、入居準備等 ・職員の体制整備 等
2	(1) 人材確保 ① 外国人採用（2名確保） ② 新卒者、中途採用（1～2名） ③ 職員補充（2ヶ月以内補充）	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人採用支援業者との連携継続 ・外国人受入準備及び受入後の教育の実施 ・各大学、短大、専門学校等とコンタクトを取り、学生、学校関係者と協働していく。 ・各求人業者の活用及び情報収集 ・職員欠員時には早期対応し人材確保に努める。
	(2) 職員教育の推進 （年間研修参加8件以上）	<ul style="list-style-type: none"> ・職員勉強会（内部研修）の実施 ・外部研修への参加 ・自己啓発を促し、自ら学ぶ意欲を尊重した研修参加の推進

重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
3	(1) 在園利用者の安定利用の促進 （退園利用者ゼロ）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して利用していただく為の対策を検討し実施する（欠席減、出席日数増）。 ・利用者、ご家族の意向に沿ったサービスの検討及び実施
	(2) 新規利用者の確保 （年度内に1名以上）	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域特別支援学校への訪問、情報収集 ・相談支援事業所（相談員）への訪問、情報収集 ・職場実習実施への働き掛けの実施 ・日本平学園の周知、宣伝の推進
4	(1) 地域社会への貢献 （交流等年間3件以上）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流会の企画、実施 ・地域大学等教育機関への協力（実習生受入、講演等） ・地域の会合に参加 ・圏域地区社協との連携
5	(1) 理事会、評議員会の定期開催 （理事会3回、評議員会3回）	<ul style="list-style-type: none"> ・定款に則り法令を遵守する。 ・定時開催及び必要に応じた臨時の開催の実施及び継続

令和 8 年度 生活介護・就労継続支援 B 型事業「日本平学園」事業計画

- 運営方針
- (1) 利用者個々の実態に合わせた支援により、社会参加と自立に努める。また、就労意欲の向上を図り、一人でも多く社会へ送り出すことが出来るようにする。
 - (2) 利用者の重度化に対応するため、きめ細やかな援助を行い健康管理にも留意して、本人はもちろん保護者の負担軽減を図る。
 - (3) 学園の諸行事を通して利用者の情緒安定と保護者の理解や、協力を高める。また、地域交流を目的とした行事を実施し、地域の方々の理解や連携を深めるように努める。
 - (4) 静岡市内の他施設や各機関、企業との交流を深めて、作業能力の向上を図り、就労の促進に努める。

令和 8 年度の事業計画		
1. 利用者の健康維持及び安全確保 2. 利用者支援の質の向上 3. 作業工賃の支給継続 4. IT 化の推進 5. 利用時間延長等の検討		
重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
1	(1) 健康維持 (健康診断年 2 回の実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断(山田医師による健診、済生会総合病院による健診 (計 2 回) の実施 ・インフルエンザワクチン接種 (希望者) 実施 ・感染症予防の実施 (検温、消毒、空気清浄等) ・職員の気付き、早期対応
	(2) 安全確保 (事故ゼロ)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の 6S の推進 ・危険物の除去、整理整頓の徹底 ・事故発生時の適切な初動及び「トラブル及びその対応報告書」を活用した再発防止に努める。
2	(1) 意思決定支援の推進 (毎日 1 人 1 回は実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思確認の支援 ・利用者の意思が反映される活動の実施

重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
3	・作業収入の維持 （就労継続支援B型の月額平均 工賃 35,000 円の維持）	・工賃単価や委託作業自体の見直す機会を設 け、改善或いは新規作業の開拓等検討して いく。 ・新規作業開拓等も念頭に入れ、社会情勢に 関らず工賃支給が継続出来るようにする。
4	・ご家族からの連絡の24時間対応 実施 （24時間連絡受付開始）	・LINEの導入、活用方法の検討 ・ITを活用し、ペーパーレス及び業務省力化 の推進 ・AIを使用した資料作成等、時間コストの削減
5	・利用時間の延長の検討 （検討後、延長の準備を整えて実施）	・シングルマザー等、家庭状況の多様化に沿 った提供サービスの検討。

事業体系及び定員・現員		
多機能型 定員40名(生活介護24名、就労継続支援B型16名) 現員39名(生活介護24名、就労継続支援B型15名)		
利用者の日課		
9:00~10:00	施設到着	着替え、トイレ等
10:00~11:45	午前の活動	作業活動、機能訓練等
12:00~13:00	昼食、昼休み	食事介助、片付け、午後の準備
13:00~15:20	午後の活動	作業活動、機能訓練等
15:20~15:30	帰宅準備	持ち物確認
15:30	帰宅	降園、送迎車出発
職員体制		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設長 1名 ・サービス管理責任者 1名 ・生活支援員 12名(うち1名 9時半~15時、1名 10~15時、1名 10~16時勤務の非常勤) ・職業指導員 1名 ・目標工賃達成指導員 1名 ・嘱託医、看護師 各1名 ・事務員 2名 ・調理員 1名 ・運転手 2名 		

令和8年度 共同生活援助(包括型)事業

「日本平ホーム」「日本平ハイツ」事業計画

運営方針 生活している利用者が、心休まる生活を送れることを大切にする。日本平ホーム、日本平ハイツでは、利用者が様々な社会経験を行えるようホーム全体で取り組み、意思決定できる環境をつくり、働くことや暮らしへの目標・生きがいの創出に繋がられるよう支援する。

令和8年度の事業計画		
(日本平ホーム、日本平ハイツ)		
1. 日本平ホームの24時間365日稼働の実施 2. 日本平ハイツの24時間365日稼働に向けた取り組み 3. 入居者の健康維持、安全確保		
重点項目		
No.	重点項目(目標値)	取り組む内容
1	(1) 職員体制の整備、維持 (毎日稼働)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員体制の継続 ・緊急時の対応の確認、周知 ・長期休暇の体制確保
2	(1) 日本平ハイツの職員体制の整備 (体制確認後、試験的实施)	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日開所に向けた体制の検討 ・段階的な実施計画の策定 ・職員募集の推進 ・職員教育の実施
3	(1) 入居者の健康維持、安全確保 (事故ゼロ)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の健康チェックの継続(検温、消毒、表情、行動等の観察)～専門医受診の促しの実施 ・服薬管理、定期通院の徹底 ・建物内の整理整頓、危険個所の改善等

職員体制

(日本平ホーム)

6:30~15:15 世話人1名
7:30~10:30 生活支援員1名
15:30~19:00 世話人1名
15:30~20:30 生活支援員1名
20:30~翌7:00 宿直職員又は夜勤職員

<週末等の体制>

7:00~16:00 世話人1名
15:00~20:30 世話人1名
20:30~翌7:00 宿直職員

(日本平ハイツ)

6:30~14:30 世話人1名
15:00~19:00 世話人1名

月額利用料

(日本平ホーム・日本平ハイツ)

- ・家賃 40,000円(10,000円の補助あり)
- ・食費 朝食380円、夕食570円、(×食した数)
- ・光熱水費 7,000円
- ・日用品費 5,000円

令和8年度 短期入所事業「日本平ホーム短期入所事業所」事業計画

運営方針 利用者の自立のサポートとその家族の心身の負担軽減のために、個々のニーズに合った柔軟なサービスの提供に努める。利用者の立場になって思いやりを持った支援を行う。

令和8年度の事業計画		
1. 18歳未満の方の利用実施 2. 利用稼働率の向上		
重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
1	(1) 18歳未満の方の利用実施 (実際の利用実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所（相談員）への働きかけ ・受入体制の確立～利用の促し～利用～振り返りの実施 ・送迎の検討～実施
2	(1) 利用稼働率の向上 (80%以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・現短期入所利用者へ、複数回利用の促し ・連泊の促し ・短期入所の定員の再検討
職員体制		
15:00～19:00 世話人1名		
15:30～20:30 生活支援員1名		
20:30～翌7:00 宿直職員又は夜勤職員1名		
6:30～15:15 世話人1名		
7:30～10:30 生活支援員1名		
日額利用料		
<ul style="list-style-type: none"> ・食費 朝食380円、夕食570円 ・光熱水費 100円 ・日用品費 200円 		
		合計 1,250円